

教育長日記（平成28年4月18日）

青い空に浮かぶ白い雲 101

—平成28年度 教育長の学校に係る教育経営方針—

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

（今日の言葉） 腕を磨き もっと、もっと美味しいものを（昌）

平成28年度、教育長の学校に係る教育経営方針を以下のとおり決めました。

1 生きる力

自立した人間の育成
「知」「徳」「体」

2 協働・一丸
教育委員会と
学校

東大和市教育委員会の教育目標より

- 互いの人格を尊重し、
思いやりと規範意識のある人間
- 社会の一員として、
社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、
個性と創造力豊かな人間

3 地域の学校
連携・協力した輝
きのある学校

東大和市の児童生徒は、学校の意欲的な教育改革への取組みはもちろん、保護者・地域・関係機関の熱心な支援によって、チャレンジしようとする意欲が高まり、様々な分野で確実に成果をあげ高い評価を受けています。新年度を迎え、私も三本の柱を立てて皆さんとともに学校教育の充実に向け取り組んでいきます。

1の柱 「生きる力」 （社会的に自立した人間の育成 知徳体）

社会でたくましく生き抜いていくために必要な「生きる力」を育成することを目指し、創意・工夫を活かした特色ある教育活動を展開する。その中で、一人一人の児童生徒に基礎的・基本的な知識を確実に習得させ、思考力、判断力、表現力、その他の能力を育む。また、自尊感情や自己肯定感を引き出し、東大和市の学校で学ぶことに「誇り」をもたせる。教師は育成のプロであることを自覚し、その責任を果たす。

2の柱 「協働・一丸」 （教育委員会と学校）

東大和市教育委員会の教育目標を達成していくためには、教育委員会と学校とが相互に理解しあい、協働しながら一丸となって教育課題の解決に取り組む。

3の柱 「地域の学校」 （連携・協力した輝きある学校）

すでに学校と地域は、さまざまな機会において連携・協力した活動を進めている。子どもたちが「次代を担う大切な地域の財産」であることを認識し、学校と地域とが連携・協力して子どもたちを育成していくことが大切である。学校は「地域の教育に対する熱い思い」により開校に至ったものである。その思いや願いに込めながら、「輝きのある学校づくり」を進めていく。